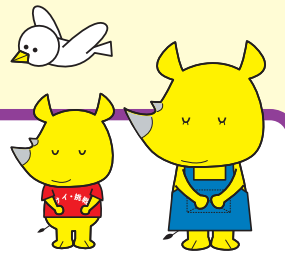


ごみ減量検定へのご参加 ありがとうございました!

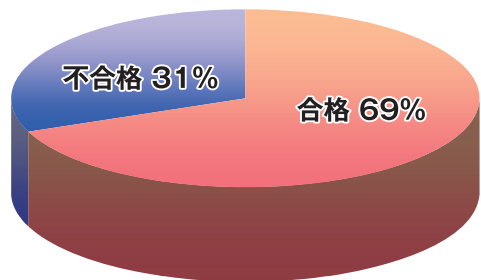


今年の2月に、サイチョプレス vol.3 で新潟市のごみ減量等に関する検定を行いました。今回はその回答状況の結果をお伝えします。

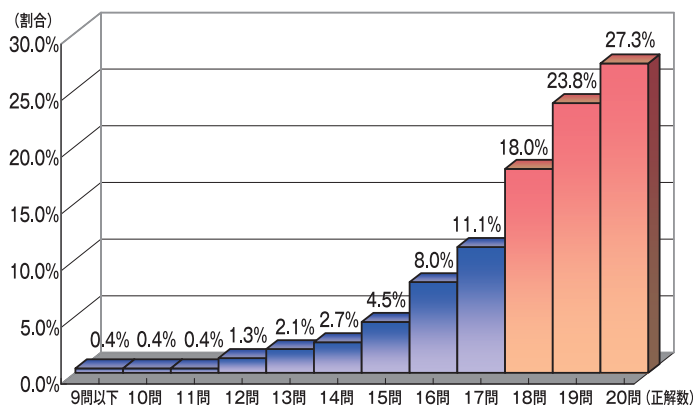
1. 合格者割合および正解数分布

全応募件数に対する合格、不合格の割合は以下の通りです。

※20問中18問以上正解で合格。



正解数別の分布は以下の通りとなっています。



2. 問題別正答率

各問ごとの正答率では、問題4の「枝葉・草の対象外は?」と問題9の「携帯電話の処分方法で望ましいものは?」が99%と最も高くなりました。一方、問題16「3Rのうちリデュースはどれ?」は正答率73%で最も低い結果となりました。

サイチョプレスのバックナンバーはインターネットで見ることができます。3Rはごみを減らすための基本的な考え方です。下の記事でも紹介しているのでこの機会に確認してみましょう。
また、ごみ減量検定は今年度も行います。多くの方のご応募をお待ちしています!

3R 正しく理解していますか?

“3R”(スリーアール)という言葉は、おそらく多くの人が、聞いたことがあるのではないのでしょうか。ではこの“3つのR”の言葉や意味も正しく理解していますか?

高

優先順位

低

リデュース

① Reduce : 発生抑制 (ごみを出さない工夫)

ごみになるものや不要になるものは買わない・受け取らないことにより、ごみや資源の発生そのものを抑制します。食べ残しをしないことも、生ごみの抑制に効果的です。



リユース

② Reuse : 再使用 (くり返し使用する)

一度使用したものをすぐに捨てるのではなく、くり返し使用します。家電製品などが壊れた時に、修理してまた使用することもリユースに含まれます。

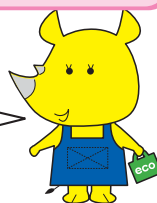


リサイクル

③ Recycle : 再生利用 (資源として出す)

不要になったものに手を加え、再び原材料として利用します。日ごろ、皆さんが分別して出した資源は、リサイクルによって新たな製品の原材料へと生まれ変わります。

リサイクルを行う場合にも、原材料に加工する段階でエネルギーを使用します。リデュースの3Rの中でもまずはReduce!ごみを出さないようにすることが重要です。



粗大ごみについて

粗大ごみを出す際には、電話かインターネットで収集の申込みが必要です。下記の粗大ごみ受付センターへお申込み下さい。

【粗大ごみ受付センター】

TEL
025-290-5353

受付時間：月～土曜 午前9時～午後5時
(祝休日及び 12/29～1/3 は除く)

インターネット

新潟市ホームページよりお申込みできます。

<http://www.sodai.city.niigata.jp>

(24 時間受付)

※FAX : 025-290-5371

聴覚・音声・言語機能障がい等がある方専用

休み明けは申込みが集中するため、週の始めほど電話が混み合っています。

土曜日でも受付を行っていますので、ご利用ください。

サイチョヨの

リサイクル工場見学



蛍光管のリサイクルをしている株式会社北陸ジオテックへ工場見学に行ってきました!



処理しやすいように、直管形、環状管形、コンパクト形など形状ごとに分類します。



ガラス部分と口金部分にカットした後、ガラス部分を破碎します。



蛍光パウダーを分離し、破碎時にした粉と一緒に集めます。



蛍光パウダーを分離した後のガラス部分・口金部分に含まれる水銀は加熱気化して除去します。



(金属類)



(ガラス)

金属類とガラスに選別後、金属類は再び金属製品の原料に、ガラスは断熱材(グラスウール)やガラス工芸品のほか、再び蛍光管へと生まれ変わります。

除去した水銀も集められて、再び蛍光管や水銀体温計などの原料としてリサイクルされているんだって!

市内の家庭から出される廃蛍光管は全てここで処理しているんだよ。



つづく(下段に)

